

平成 28 年 度
事 業 報 告 書

社会福祉法人 亀望会

はじめに

平成29年度に実施される社会福祉法人改革に向け、セミナーなどの参加により情報収集し、段階的に平成29年度につなげることができました。また、当法人は『地域包括ケアシステム』の構築の役割を積極的に果たすべく、中央区北部包括支援センターが認知症施策のひとつである『認知症初期集中支援推進事業』を大阪市より受託しました。

引き続き社会医療法人きつこう会と合同で『質の高い医療、介護、福祉サービスが切れ目なく提供できる地域づくり』をめざし、積極的に取り組みました。

今年度は3年後のビジョン『利用者、家族、地域社会や職員から満足されるよう法人として価値を高め、地域包括ケアの推進に寄与する。』をかかげ、その3年目の年度として各事業が、5つの視点（地域貢献・顧客・財務・業務プロセス・人財育成）で取り組みました。

また、今回の社会福祉法人法改正の一部に、地域貢献事業実施を義務づけられる内容が盛り込まれているなか、生活困窮者自立支援事業に取り組むとともに、様々なボランティアを受け入れました。

また、『こすもすカフェ（地域喫茶）』、『認知症カフェ（オレンジカフェつどい）』に加え、『男の料理教室』を開催したことで今まで以上に地域の方々に身近な施設として、利用していただきました。

今年度も1年を通して人手不足に悩まされましたが、『介護職員処遇改善加算Ⅰ』を取得し、一部の職員に介護職員のキャリアアップ制度である『亀望会ケアプロ制度』で評価をすることで安定的なものにしました。

人財育成のカリキュラム充実、働きやすい職場づくりなど前年度以上に積極的に取り組んだことが、最小限の離職にとどめることができました。

業務改善の『アクションプラン』については、さらに内容も一段とレベルアップし、サービスの質の向上に反映させるとともに、職員のモチベーションをあげるだけではなく、帰属意識を高めるとともに、チームワークの向上にもつながりました。

1. 特別養護老人ホーム事業

平成28年度は、住み慣れた地域で、なじみの人々とふれあい、自分らしく生活できる施設を目指して、「科学的根拠に基づいた介護の実践と個別ケアの充実」を目標として、個別のニーズに応じた関わりを深めることができる取り組みを行いました。看取りケアについても退所者42名中28名の入所者を看取らせていただきました。

また、今年度から特別養護老人ホームの入所要件が要介護3以上となったことと日常生活支援加算（重度加算）による、要介護4・5の割合を高く保たなければならないため、退所のスピードに入所が追いつかないという状況が生じ、大きな減収となりました。

(1) 生活支援

①生活相談

入所者及び家族からの相談や苦情に対し迅速に対応かつ解決し、安心して生活をしていただけるよう努めました。

②施設サービス計画

入所者の持っている力を最大限に発揮してもらうために細やかなアセスメントを実施し、施設における生活がその人らしく暮らせる場として提供できるように努めました。

施設サービス計画書をよりわかりやすい言葉で具体的に示し、ケアの方向性を入所者、家族、職員に伝えることで本人らしい生活を送っていただけるように努めました。

③地域貢献の視点

地域貢献として取り組んできた「こすもすカフェ」(第二火曜日)に加え、月2回(第一・第三木曜日)の午前中に「モーニング・カフェ」を開催しました。それぞれ常連のお客様も増え、地域の交流の場として定着してきました。また、昨年度と同様に地域住民の方向けに「認知症サポーター養成講座」を開催し、積極的に「認知症サポーター」を増やす取り組みも行いました。

地域交流の取り組みでは、地域のボランティア活動の拠点としての機能を果たすため、多方面からボランティアを受け入れることができる体制を整えるとともに、幼稚園や保育所と交流会を行い、園児と入所者との触れ合いの場を設け、また、幼稚園や保育所に出向いて福祉講座を開き、福祉をより理解していただけるように啓発活動を行いました。

これからの福祉人材養成の面では、養成校からの外国人実習生の受け入れ要請に関しても柔軟に対応し、教育指導にあたりました。

入所者と地域定例のお花見や盆踊りなどの行事に参加するだけではなく、定例の町会会議にも出席し、歳末警備など積極的に参加することで地域の一員として関わりを持つように努めました。

④顧客の視点

認知症や入浴、排泄、食事に関する「ケアのあり方委員会」を開催し、科学的根拠に基づくケア方針の検討と実践により、ケア方針の確立に向けて取り組みました。

⑤財務の視点

職員一人ひとりがコスト意識をもって業務遂行を行っていく取り組みとして、節電や節水、排せつ方法や排せつ物品の見直しを定期的に行い、排せつケアの見直しを図りました。

⑥業務プロセスの視点

「腰痛予防委員会」で検討された介護機器の導入、腰痛予防を目的とした研修を行い、重度化した現場に対する介護職員の負担軽減に努めました。

⑦人財育成の視点

新任職員に対するフォローアップを強化するなど、職員研修を充実させることで、モチベーションアップに繋げ、全体のレベルアップを図りました。

(2) 健康管理

ケアの基本である「生活を整える」ためには、疾患の基礎的理解が必要であることから、看護職員より介護職員へ医療的な知識を積極的に指導伝達するなど連携強化に努めました。

看取りケアにおいては、すべての職種が連携し支援することにより、施設で穏やかな最期を迎えていただきました。

平成24年度から一定条件の下での介護職員による口腔内痰吸引等がおこなえることとなり、入所者により安全なケアの提供と、介護職員のスキルアップに繋がる指導を看護職員により継続、実施しました。

(3) 栄養管理

前年度に引き続き、家庭規模の少人数で行う「鍋料理」や「冷やし素麺」とイベント規模で行う「鉄板祭り」や「味覚祭り」などの行事を通して食事を楽しんでいただくことで、普段見ることのできない新たな一面を発見することができました。

このような情報を栄養ケアマネジメントや日々の食事に生かし、個別に反映させることができました。

(4) その他の取り組み

安全対策の取り組みとして、各専門職が協働し、事故予防策の見直しに対して積極的に取り組み、事故予防に対する職員の意識向上を図ることができました。

2. 居宅サービス事業

居宅サービス事業においては、『地域包括ケアシステム』の一端を担う事業所であることを意識し、より質の高いサービスを提供できるよう各部署の連携強化、研修機会の増加に取り組むと共に、医療機関や行政、地域との連携強化にも努めました。

その結果、利用者や家族に安心して利用して頂けるサービスを提供することができ、地域の方々の『在宅支援、自立支援』に貢献することができました。

(1) 短期入所生活介護（ショートステイ）

施設で過ごされた様子を家族に知っていただくために、送迎時や自宅への連絡にて報告するなど連携を密に取ることで、信頼関係を構築することができました。

平成27年9月から開始した認知症高齢者緊急ショートステイ事業（居室確保業務）を大阪市より受託し、在宅の認知症高齢者等が介護者の急病や葬儀への出席など突発的な事由により在宅生活が困難となった場合、一時的に受け入れ、介護サービスを提供することで、介護者の精神的負担感の軽減に努めました。

(2) 通所介護（高齢者デイサービス）

利用者や家族のニーズに変化が表れてきたことにより7月から日曜日の営業を中止することになりました。更には職員体制に不足があり、目標としていた稼働率を達成することができず大幅な減収となりました。

地域ではリハビリや入浴などに特化した目的別のデイサービスが開設されるなか、当法人では設備はもちろん、専門知識や技術に加え経験を重ねた職員の配置により、介護度が中度から重度になっても利用を継続できるよう柔軟に受け入れることができた。

通所サービスに求められる機能として、家族にとっては「介護負担軽減」が最も求められることが事実としてありますが、本人が持つ能力を発見し生活機能の向上を目的とした取り組みを続けることで、要介護度を改善することができる事例も増やすことができた。

次年度は時流や制度改正に柔軟に対応できるように職員への教育を行い、効果的なサービスを実施することで評価され、選ばれる施設づくりに努めていきます。

(3) 認知症対応型通所介護（コスモスのかぜ九条南）

認知症の方を対象とする通所介護は2年目を迎え、当初のコンセプト通り、日常生活の延長線上にある「役割のある過ごし方」を中心に、認知機能の維持と進行の防止や生活機能向上に繋げることで、在宅生活の継続を支援することができた。

地域の方々に対してはサービスの特色や認知症についての啓発活動、居場所づくりや相談の場として「認知症カフェ（オレンジカフェつどい）」「男の料理教室」などを開催しました。また、新たに発足した「運営推進会議」の定期開催にて地域の会合での広報活動の機会を得ることができました。

利用申し込みは定期的にありましたが、施設入所される方も多く、目標としていた稼働率を達成することができませんでした。

次年度は、前述の地域への取り組みを継続するとともにそれを地域の方々に向けていただくための積極的な広報活動を実施していきます。

(4) 在宅介護支援センター（居宅介護支援事業所含）

西区地域包括支援センター総合相談窓口として専属の相談員を配置することで、地域活動の幅が広がり、より地域に根ざした事業所となることができました。

居宅介護支援事業としては4名の介護支援専門員により、高齢者人口の少ない西区において月平均147件の要支援・要介護ケースに対応しました。引き続き特定事業所加算Ⅱの算定に見合った事業所の運営、介護支援専門員の質の向上に向けて努力していきます。

各種関係者との連携および地域活動として、幼稚園、保育所での福祉教育、認知症カフェへの参加、認知症サポーター養成講座の定期開催、圏域マンションでの出張講座などを行いました。また、大阪市委託事業である家族介護者教室を西区地域包括支援センターと共催することにより、多くの地域住民の方々との交流の機会を設けることができました。次年度もこのような機会をより多く設け、継続して取り組んでいきます。

(5) 訪問介護（ホームヘルプサービス）

いつまでも住み慣れた自宅で自分らしい生活が継続できるように「共に行う支援」を中心に、「できる」ことに着目し、自立支援に繋げてきました。その結果として要介護度を改善することができた例もあり、利用者と職員が共に喜ぶ出来事もありました。

また、現場職員が主導となり元気で働き続けることを実現するためにストレスの解消方法やリラックス方法を学ぶだけでなく施設職員全体にアンケートを取り、分析、実践することで体調不良による欠勤をゼロにすることができました。更には福祉介護分野についての向上意欲が高く、介護支援専門員・介護福祉士の資格試験合格者も輩出できました。

次年度も引き続き、利用者が一番近い専門職として利用者の方々が「元気になる」サービスの提供に取り組んでいきます。

(6) 地域包括支援センター（中央区北部）

開設5年目となる今年度の総合相談件数は2,966件・相談実人数は622名となり、地域に根差した相談窓口として定着してきました。

介護支援専門員からの相談件数も715件となり、地域の介護支援専門員への後方支援の機会に比例し、信頼関係も深まっています。

高齢者虐待や処遇困難ケースに対しては地域ケア会議を18回・サービス利用調整会議を18回行い、行政や地域の関連機関と連携により問題解決を図りました。

中央区認知症支援ネットワーク（C o C o ネットちゅうおう）や中央区地域ケア研究集会、各介護保険事業所の連絡会及び介護家族の会などの事務局として地域のネットワーク作りに貢献しました。

介護予防への取り組みとして介護予防事業の利用を積極的に勧め、46件の二次予防事業対象者介護予防ケアプランを作成しました。また、指定介護予防支援事業者として月平均369件（一部委託含む）の指定介護予防ケアプランに携りました。

事業評価については、大阪市の評価基準を全て満たし、応用評価についても昨年以上の評価を受けました。次年度においても評価基準を満たす運営を行い、地域に信頼される地域包括支援センターを目指します。

(7) 認知症初期集中支援推進事業（中央区北部）

認知症の疑いがある方々のファーストタッチを集中的に行う事業として、平成29年1月から取り組みを開始しました。初期集中支援チームとしてケースの支援方針を検討する為の会議をサポート医も交えて3回開催しました。また、中央区内で様々な機関と連携を図る為の会議へ参加し、今後の活動の基盤作りに取り組んでいます。

開設したばかりの事業であることから、専門職を始め、多くの地域住民の方々にも知っていただくため、区の広報誌やホームページ、町内の回覧板などの活用、地域の会館や連合町会長、薬局や交番など88カ所へ挨拶・事業説明を行うなど、広報・普及啓発活動の取り組みに力を注いだ結果、訪問対象者件数を増やすことができました。

担当包括圏域を中心に活動を実施した結果、他包括圏域での訪問対象者は把握することができなかったことから、次年度においては中央区内全域でより積極的な広報・普及啓発活動を繰り返し、他包括担当者や区社会福祉協議会地域活動担当者と連携を強化していきます。

3. 診療所事業

昨年度に引き続き特養入所者、ケアハウス入所者および職員の健康管理に努めました。昨年同様にインフルエンザ予防接種を積極的に行い、また、感染症対策に努めました。

4. ケアハウス コスモスガーデン

ケアハウスでは、入所を継続する中で日常生活に何らかの支援が必要になってくる方がおられます。できるだけ施設で暮らし続けたいという入所者の思いを達成するため、「いつまでも住み慣れた施設で暮らし続けるために」という方針を掲げ、介護予防に繋がる活動を増やす事に力を入れ、職員の支援体制を検討し、どのような状態まで生活が可能か検討を行いました。

また、きつこう会、亀望会各事業所との連携により安心して暮らせる支援にも取り組みました。

(1) 地域貢献の視点

地域との交流を増やす取り組みとして、地域の中で行われる行事への参加を都度呼びかけ、参加者が増加しました。

入所の問い合わせが増え、様々な住居に関する相談があるので、不安が解消するように丁寧な対応に努めました。

(2) 顧客の視点

認知症予防を特に意識した介護予防の取り組みを増やしたところ、入所者の予防に対する意識が向上し、体操や行事への参加者が増加しました。

医療面の知識強化を計画していましたが、充分に行えなかったため、次年度も引き続き取り組んでいきます。

重度化への対応は、要援助者が出るたびに支援策を検討し、対応できる状態の目安を考えました。対象者が出た際に今回出来た目安を活用しながら検討を続けていきます。

(3) 財務の視点

入所者・家族とコミュニケーションを丁寧に行うことで退所の把握が出来、スムーズな入所の動きに繋がり、空室の期間を少なく経過することが出来ました。

建物や備品の老朽化が進み、長期修繕計画の見直しを行いました。が、予想外の修繕も発生しました。今後も入所者に負担が無い形での修繕を計画していきます。

(4) 業務プロセスの視点

介護予防の取り組みを進める中で、入所者の認知能力や身体能力の把握が出来、今まで以上に個別に状態を考えられるようになりました。

(5) 人財育成の視点

職員各個人の業務に必要な知識向上のための研修受講を進めました。

〔資料編〕

1. 特別養護老人ホーム事業

①入所者利用状況（H28.4.1～H29.3.31）

ア. 平均年齢：H29.3.31 現在 （）内前年度

男性	18名・83.8歳	女性	83名・88.1歳	平均年齢	87.3歳(87.8歳)
----	-----------	----	-----------	------	--------------

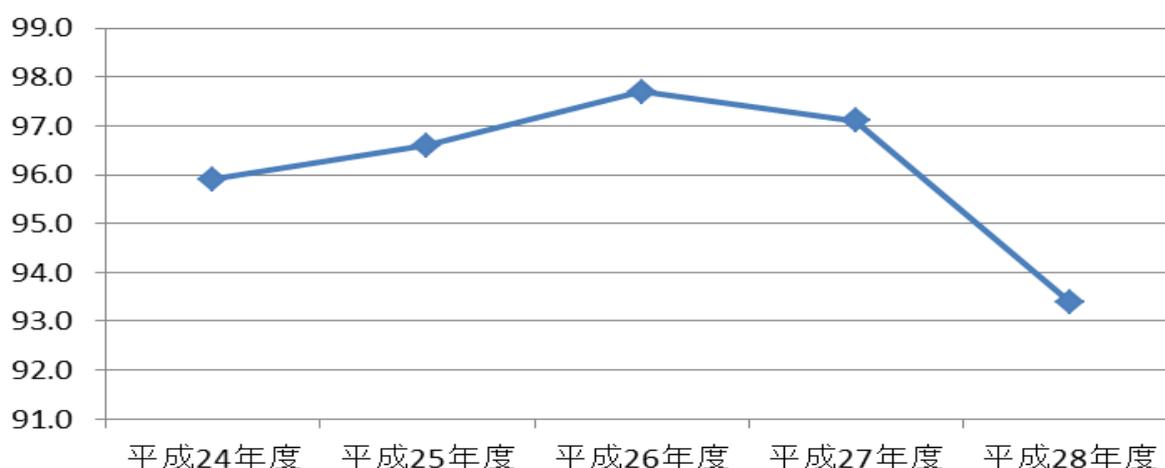
イ. 日常生活動作調査（対象者 101名）：H29.3.31 現在

区分	移動			食事			排泄			入浴			着脱		
	自立	一部介助	全部介助												
実数(名)	20	24	57	55	14	32	10	36	55	0	40	61	8	32	61

区分	整容			意思疎通			寝返り			車いす使用			認知症老人数
	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	
実数(名)	24	31	46	48	24	29	39	25	37	18	26	49	92

ウ. 年間延べ入所者数合計等：H28.4.1～H29.3.31 （）内前年度

年間利用率(%)の推移

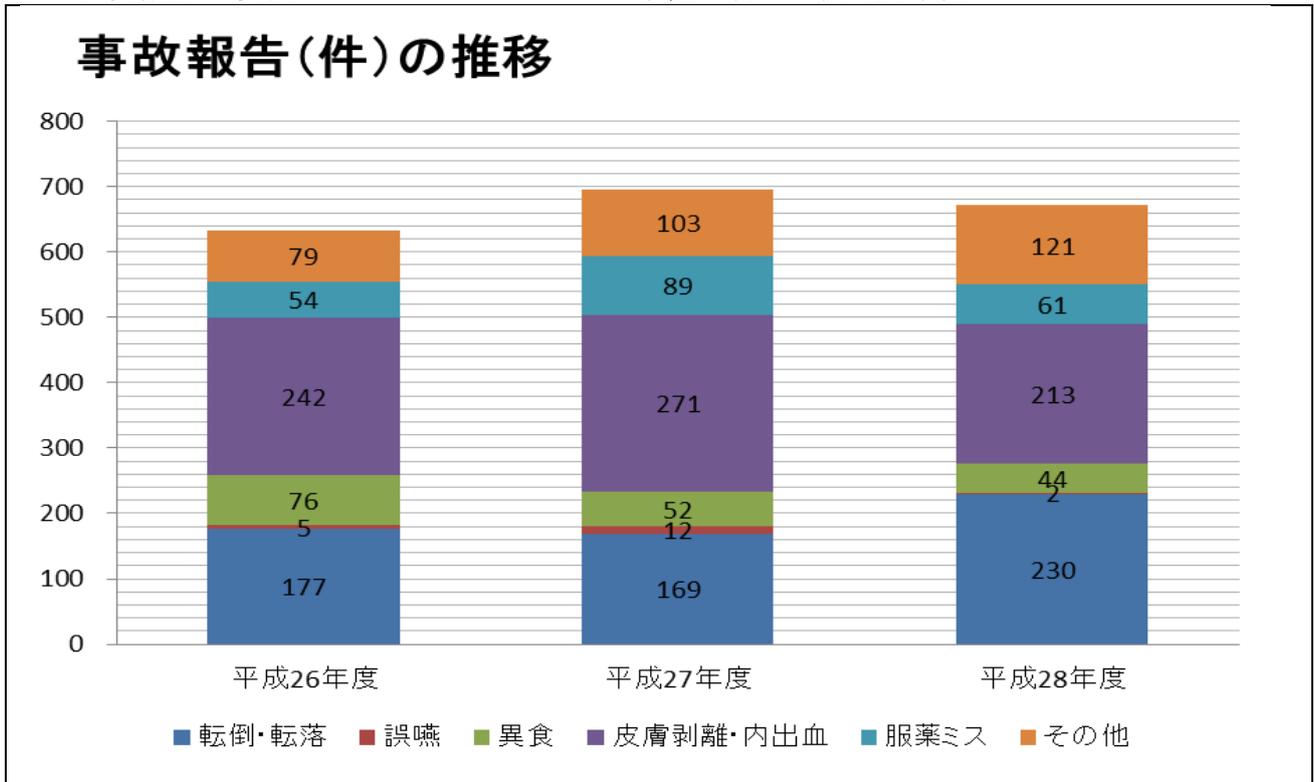


年間利用率 (%)	93.4	(97.1)	
年間延べ利用者数合計 (名)	35,458	(36,980)	
介護度別	要介護度1 (名)	327	(366)
	要介護度2 (名)	1,727	(1,719)
	要介護度3 (名)	5,330	(6,171)
	要介護度4 (名)	12,308	(11,270)
	要介護度5 (名)	15,766	(17,454)
年間延べ入院及び外泊者数 (名)	500	(740)	
年間延べ空床数 (床)	2002	(344)	
年間退所者数 (名)	42	(34)	

エ. 退所者の状況：H28. 4. 1～H29. 3. 31 単位：名

帰宅	他施設に移転	病院に入院	死亡(うち看取り)	その他	合計
1	0	9	32 (28)	0	42

オ. 事故報告の状況：H28. 4. 1～H29. 3. 31 単位：件 ()内前年度



転倒・転落	230	(169)
誤嚥	2	(12)
異食(他人の物を食べてしまう場合を含む)	44	(52)
皮膚剥離・内出血	213	(271)
服薬ミス	61	(89)
その他	121	(103)
合計	671	(696)

※重大事故2件：2件とも骨折入院（1件：骨折入院）

カ. 苦情相談の状況：H28. 4. 1～H29. 3. 31 ()内前年度

苦情相談	2件(0件)
------	--------

②主な行事および活動

ア. 行事

日付	行事名	備考
平成28年 4月2日	広教連合とのお花見(島津公園)	地域のお花見に参加し、さくら鑑賞とともに地域の人々との交流を行いました。(3名)
4月1日 ～12日	土佐稲荷神社	暖かい天気の良い日に行きました。公園では子供たちとのふれ合いもあり、楽しんでいただきました。(8名)
5月12・13・ 19・24日	うつぼ公園 バラ園	うつぼ公園でのバラ園散策日と、バラ園内でお弁当を召し上がっていただく日を設け、季節を感じていただきました。(21名)

5月20日	心の音楽会	なつかしのメロディーに、皆さん口ずさんで楽しまれていました。西区老人クラブ連合会主催（3名）
5月23日	韮幼稚園との交流会	園児による合唱や入所者に肩たたきなど、サービス満点の楽しい交流会となりました
6月29日	歌の会 「一緒に歌おう会」	全フロアを回り、昔なつかしの映像をテレビで流しながら戦中から戦後の歌をみなさんと歌い、楽しいひとときを過ごしていただきました。
7月14日	子どもみこし	施設の前で子どもみこしを披露していただき、太鼓の音色や祭りの雰囲気を楽しまれていました。
7月23日	夏祭り	模擬店や盆踊りなどボランティアの協力も得て、盛大に夏祭りを行いました。入所者及び家族、関係者の皆様にも楽しんでいただきました。
8月20・24日	すいか割り	夏の風物詩、「すいか割り」を楽しんでいただきました。
8月19・20・23・25日	地域の盆踊り	地域における盆踊りに参加し、地域の方々との交流を楽しんでいただきました。（6名）
8月29・30日	花火	夏の終わりに花火を楽しんでいただきました。
9月15日	敬老祝賀会 (マジックショー)	ミスター・オクチ氏による巧みな技に、みなさん驚愕するとともに楽しまれていました。
10月7日 ～19日	西区高齢者施設 合同展示会	出展に向け、入所者で力を合わせて創作活動を行い、多くの方々に観ていただき、称賛されたことに喜びを感じておられました。
10月26日	鉄板まつり	1階の喫茶ルームでたこ焼き、焼きそばなどを入所者の前で焼き、屋台の雰囲気の中で召し上がっていただきました。
10月20日	西保育所との交流会	手遊び歌で一緒に手を動かし、子ども達との交流を楽しまれていました。
10月27日	ポプラ保育所との交流会	手遊び歌で一緒に手を動かし、子ども達との交流を楽しまれていました
11月10・14・26日	秋の味覚まつり	焼き芋を施設内で焼き、秋の味覚を楽しんでいただきました。
12月2日	韮幼稚園との交流会	園児による合唱やお遊戯など楽しい交流会となりました。
12月15・17・20・22日	クリスマス会	職員が入所者一人ひとりに合ったプレゼントを配り、夕食時にはステーキを食べていただくなど楽しいひとときを過ごしていただきました。
12月27日	もちつき	つきたてのお餅にあんこやきなこ、大根おろしなどお好きな味で召し上がっていただきました。
平成29年 1月1・2・3日	新年祝賀会	施設長の挨拶で始まり、おせち料理やお屠蘇を提供し、新年のお祝いをしました。
2月3日	節分	昔からの風習である豆まきを豆のかわりにボールを投げ、楽しく今年一年の厄払いを行いました。
3月16日	韮幼稚園との交流会	園児による合唱やお遊戯など楽しい交流会となりました。

イ. 面会・外出・外泊状況集計表：H28. 4. 1～H29. 3. 31

月平均面会回数

24回以上	～12回	～6回	～3回	～2回	～1回	～0回
6名	12名	16名	19名	13名	18名	20名

外出回数

24回以上	～12回	～6回	～3回	～2回	～1回	～0回
4名	2名	5名	6名	4名	9名	74名

外泊回数

24回以上	～12回	～6回	～3回	～2回	～1回	～0回
0名	0名	0名	0名	2名	3名	95名

ウ. 自衛消防訓練等実施状況

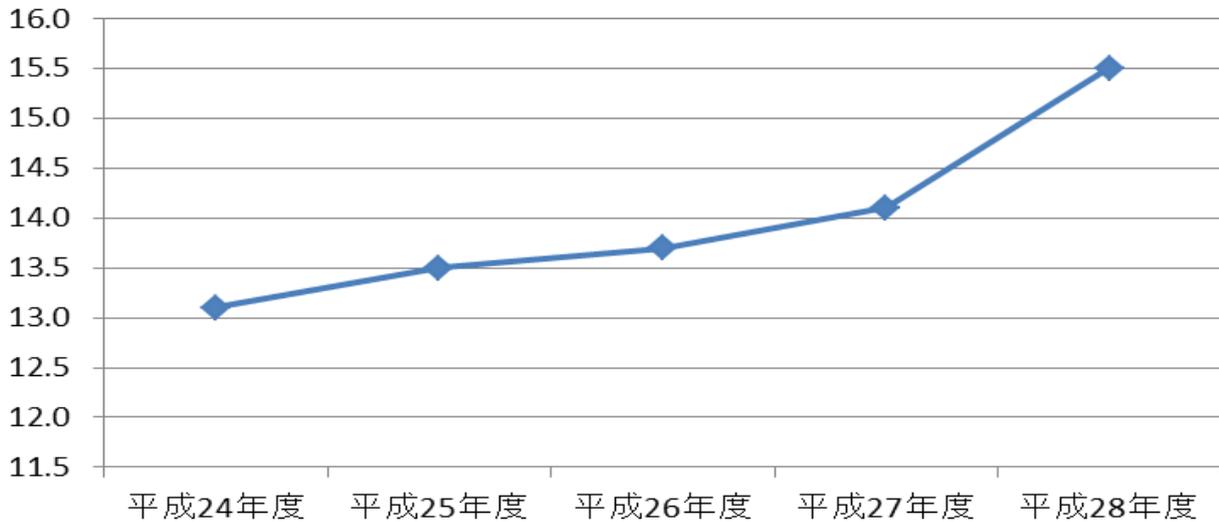
年 月 日	内 容	備 考
平成28年4月20日	自衛消防訓練(4F介護職員室前) 昼間想定	消火・通報・避難・誘導訓練
平成28年6月15日	自衛消防訓練(3F配膳室) 昼間想定	消火・通報・避難・誘導訓練
平成28年9月28日	地震防災訓練(津波想定) 昼間想定	被災・対策本部設置・防災 活動隊編成訓練
平成28年10月19日	自衛消防訓練(4F談話室) 夜間想定	消火・通報・避難・誘導訓練
平成29年1月18日	地震防災訓練(津波想定) 昼間想定	被災・対策本部設置・防災 活動隊編成訓練

2. 居宅サービス事業

①短期入所生活介護（ショートステイ）

ア. 年間延べ利用者数等：H28. 4. 1～H29. 3. 31 （）内前年度

1日平均入所者数(名)の推移



1日平均利用者数(名)		15.58	(14.11)
開設日数(日)		365	(366)
実利用人数(名)		655	(661)
年間延べ利用者数合計(名) ①+②		5,685	(5,165)
介護度別内訳	要支援1(名)	6	(13)
	要支援2(名)	29	(6)
	非該当・その他(名)	0	(0)
	要介護度1(名)	321	(338)
	要介護度2(名)	1,431	(1,191)
	要介護度3(名)	1,542	(1,287)
	要介護度4(名)	1,026	(1,275)
	要介護度5(名)	1,159	(890)
利用者数合計(名) -①		5,514	(5,000)
緊急ショート空床確保数 -②		171	(165)
1日平均利用者数(名)		15.58	(14.11)
送迎(回)		2,030	(2,207)
平均介護度		3.22	(3.23)

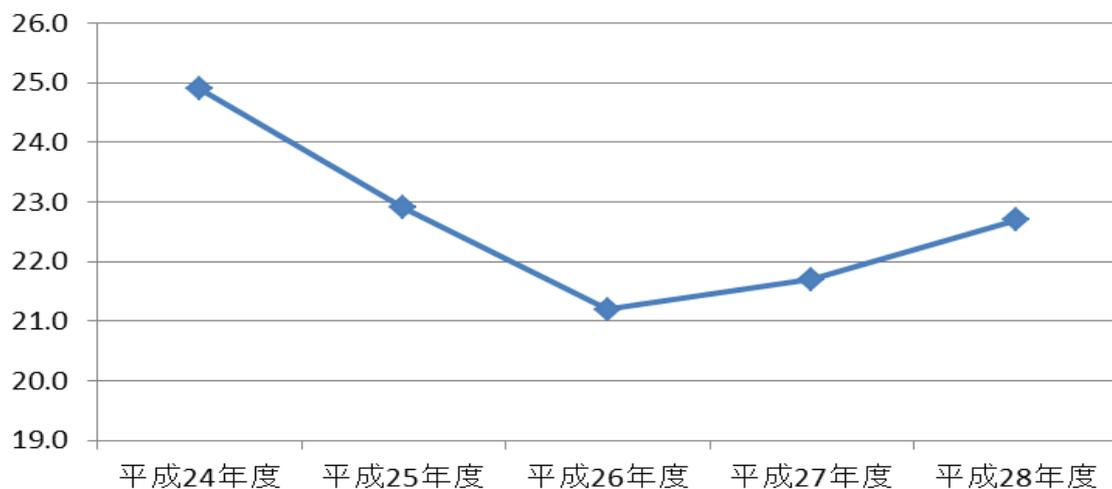
イ. 苦情相談の状況：H28. 4. 1～H29. 3. 31 （）内前年度

苦情相談	4件(0件)
------	--------

②通所介護（高齢者デイサービス）

ア. 年間延べ利用者数等：H28. 4. 1～H29. 3. 31 （）内前年度

1日平均利用者数(名)の推移



1日平均利用者数(名)	22.7	(21.7)	
開設日数(日)	325	(366)	
実利用者数(名)	961	(989)	
年間延べ利用者数合計(名)	7,368	(7,960)	
介護度別内訳	要支援1(名)	377	(346)
	要支援2(名)	482	(839)
	非該当・その他(名)	0	(0)
	要介護度1(名)	1,525	(1,488)
	要介護度2(名)	2,185	(2,129)
	要介護度3(名)	1,203	(1,390)
	要介護度4(名)	1,118	(1,104)
	要介護度5(名)	478	(640)
1日平均利用者数(名)	22.7	(21.7)	
送迎(回)	6,096	(6,607)	
入浴(回)	6,155	(6,631)	
給食(食)	7,196	(6,386)	
平均介護度	2.51	(2.59)	

イ. 実利用者数月毎推移表：H28. 4. 1～H29. 3. 31

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実利用者数(名)	80	82	84	86	86	80	79	77	75	78	77	77

ウ. 利用者の状況：H29. 3. 31現在

	一人暮らし 世帯	高齢者 世帯	子ども(家族) と同居	その他	合計
合計(名)	19	17	47	0	83

エ. 主な行事

- ・お花見（江之子島公園）：4月3日（月）～4月10日（月）
- ・七夕週間：7月1日（金）～7月6日（水）
- ・夏祭り週間：8月15日（月）～8月20日（土）
- ・敬老週間：9月12日（月）～9月17日（土）
- ・年末ビンゴ大会：12月25日（日）～12月31日（土）

- ・初詣（茨住吉神社）：1月9日（月）～1月13日（金）
- ・節分：2月1日（水）～2月3日（金）

オ．誕生日会

- ・毎月開催（メッセージカードと写真立てをプレゼント）

カ．クラブ活動

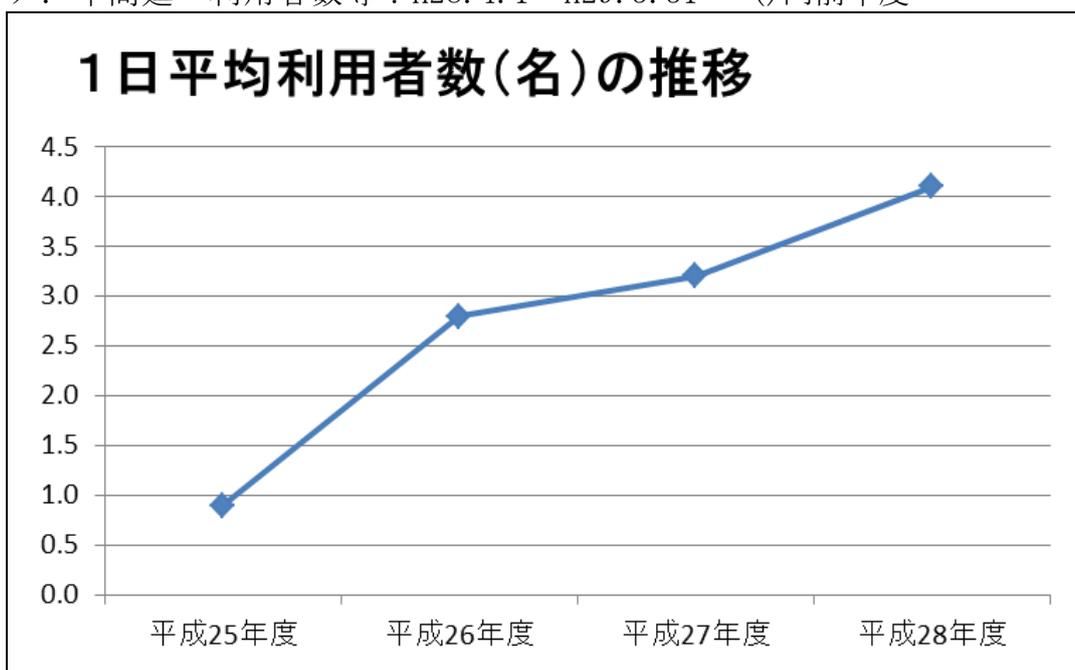
- ・脳トレ、書道・ペン習字、運動、モノ作り、手芸の各クラブ活動を実施

キ．苦情相談の状況：H28. 4. 1～H29. 3. 31 （）内前年度

苦情相談	4件（7件）
------	--------

③認知症対応型通所介護（コスモスのかぜ九条南）

ア．年間延べ利用者数等：H28. 4. 1～H29. 3. 31 （）内前年度



開設日数（日）	2 5 7	(2 5 8)
実利用者数（名）	1 0 9	(8 4)
年間延べ利用者数合計（人）	1 0 5 3	(8 3 8)
介護度別内訳	要支援1（名）	0 (0)
	要支援2（名）	0 (0)
	非該当・その他（名）	0 (0)
	要介護度1（名）	1 4 8 (2 8 2)
	要介護度2（名）	4 8 0 (1 8 6)
	要介護度3（名）	2 9 4 (3 3 5)
	要介護度4（名）	1 3 1 (3 5)
要介護度5（名）	0 (0)	
1日平均利用者数（名）	4. 1 0	(3. 2 4)
送迎（回）	1 0 5 3	(7 4 4)
入浴（回）	6 1 7	(1 7 8)
給食（食）	1 0 4 9	(8 2 5)
平均介護度	2. 3 8	(2. 1 4)

イ．実利用者数月毎推移表：H28. 4. 1～H29. 3. 31

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実利用者数（名）	9	9	8	9	9	10	10	9	10	10	8	8

ウ. 利用者の状況：H29. 3. 31現在

	一人暮らし 世帯	高齢者 世帯	子ども(家族) と同居	その他	合計
合計(名)	1	1	6	0	8

エ. コスモスのかぜ九条南運営推進会議の状況：H28. 4. 1～H29. 3. 31 ()内前年度

5回(0回)	のべ24名参加(0名)
--------	-------------

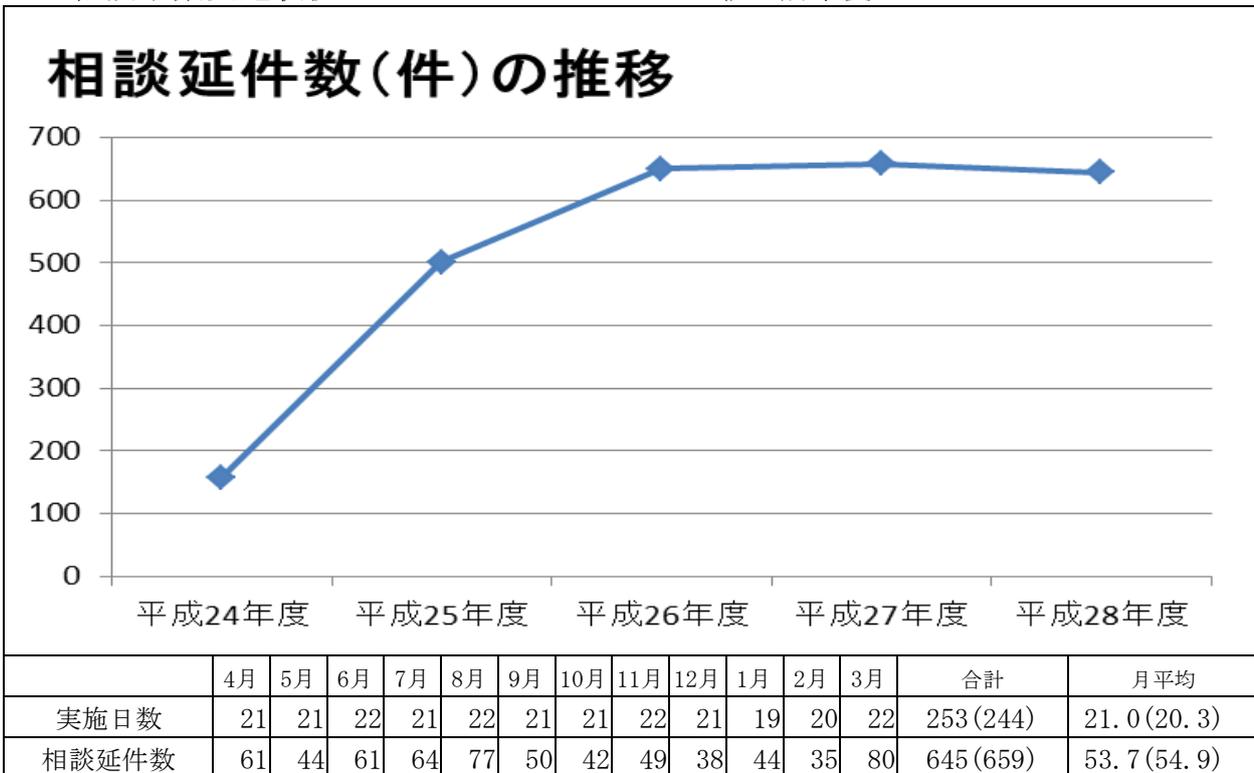
オ. 苦情相談の状況：H28. 4. 1～H29. 3. 31 ()内前年度

苦情相談	0件(0件)
------	--------

④在宅介護支援センター(居宅介護支援事業含)

(1)在宅介護支援センター事業

ア. 相談事業実施状況：H28. 4. 1～H29. 3. 31 ()内前年度



イ. 相談内容：H28. 4. 1～H29. 3. 31

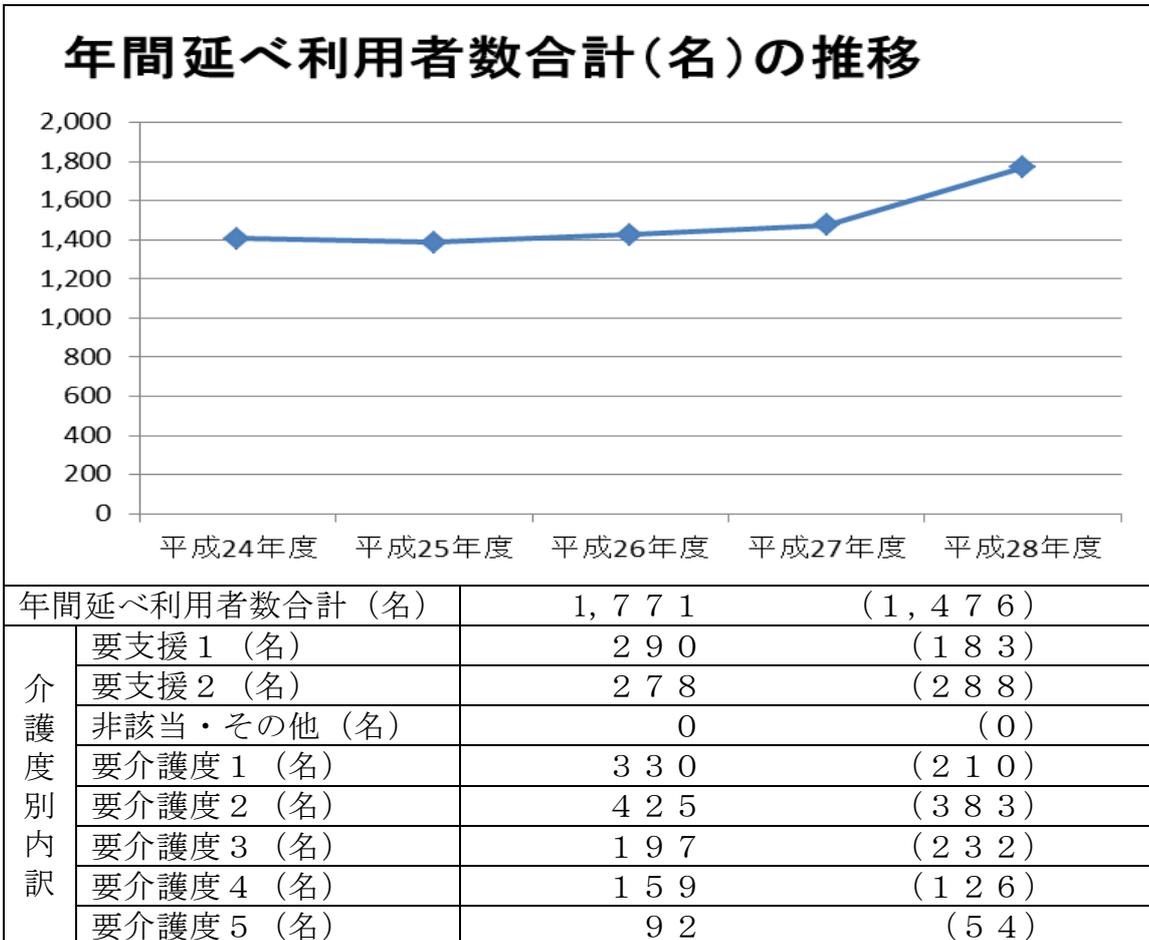
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
家族・家庭問題				1	2	4	1	1	1	1	1	4	16	1.3
経済・生活問題	9	3	2	1	3	4	5	6	2	1	4	7	47	3.9
介護サービス	32	25	34	35	33	26	15	21	25	24	20	34	324	27.0
介護予防サービス	15	16	25	24	33	4	12	14	4	6	5	25	183	15.2
介護予防事業	2	1											3	0.2
福祉サービス	2				1				4	2			9	0.7
保健医療サービス				1		1		3		1		4	10	0.8
虐待				2	1								3	0.2
成年後見制度						1							1	0.8
生きがづくり														
その他	1				4	10	9	4	2	9	5	6	50	4.1
合計(件)	61	44	61	64	77	50	42	49	38	44	35	80	645	53.7

ウ. 苦情相談の状況：H28. 4. 1～H29. 3. 31 ()内前年度

苦情相談	0件 (0件)
------	---------

(2) 居宅介護支援事業

ア. 年間延べ利用者数等：H28. 4. 1～H29. 3. 31 ()内前年度

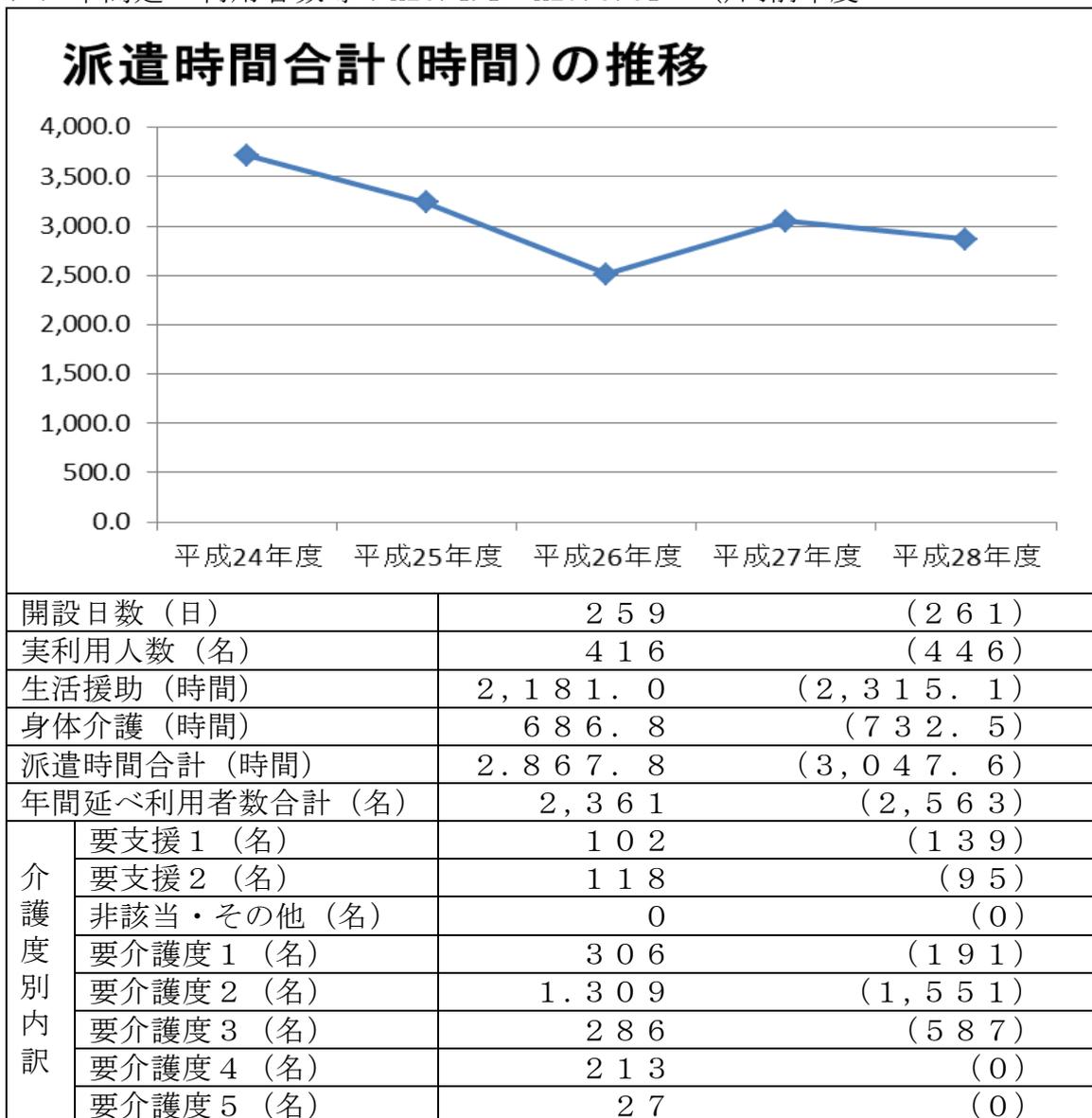


イ. 苦情相談の状況：H28. 4. 1～H29. 3. 31 ()内前年度

苦情相談	3件 (2件)
------	---------

⑤訪問介護（ホームヘルプサービス）

ア. 年間延べ利用者数等：H28. 4. 1～H29. 3. 31 （）内前年度



イ. 平均年齢 全体 男女別：H29. 3. 31現在

男性	7名・78.3歳	女性	28名・84.4歳	平均年齢	35名・83.2歳
----	----------	----	-----------	------	-----------

ウ. 利用者の状況：H29. 3. 31現在

	一人暮らし 世帯	夫婦のみ 世帯	子ども(家族) と同居	未婚の子ども と同居	その他	合計
合計(名)	23	7	1	2	2	35

エ. 苦情相談の状況：H28. 4. 1～H29. 3. 31 （）内前年度

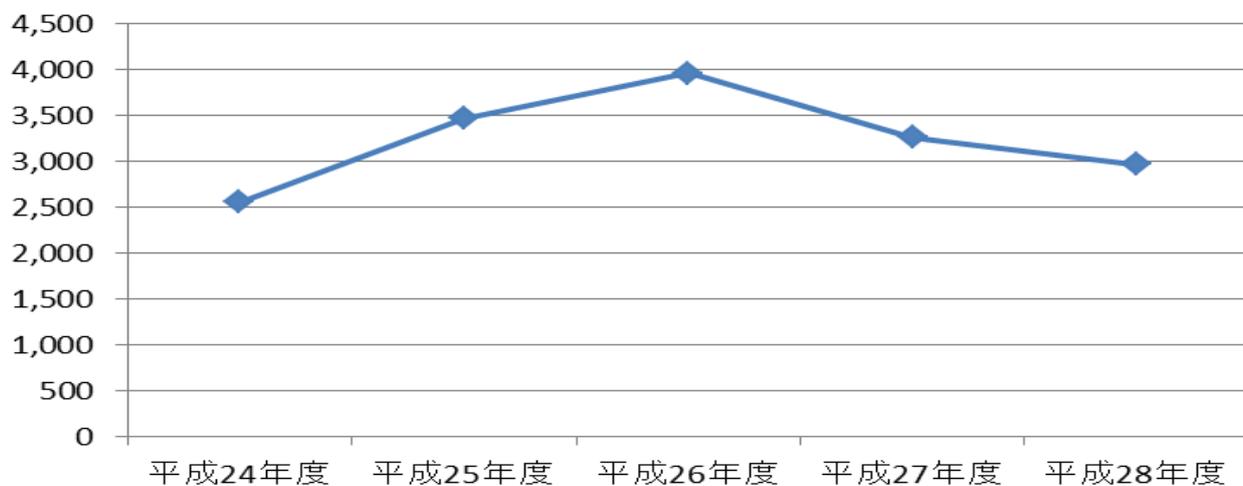
苦情相談	2件（1件）
------	--------

⑥地域包括支援センター（中央区北部）

(1)地域包括介護支援センター事業

ア. 相談事業実施状況：H28. 4. 1～H29. 3. 31 ()内前年度

相談延件数(件)の推移



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
実施日数	22	26	30	26	27	26	26	26	25	24	24	27	309(311)	25.8(25.9)
相談延件数	229	263	250	202	226	282	291	174	202	258	304	285	2966(3258)	247.2(271.5)

イ. 相談内容：：H28. 4. 1～H29. 3. 31

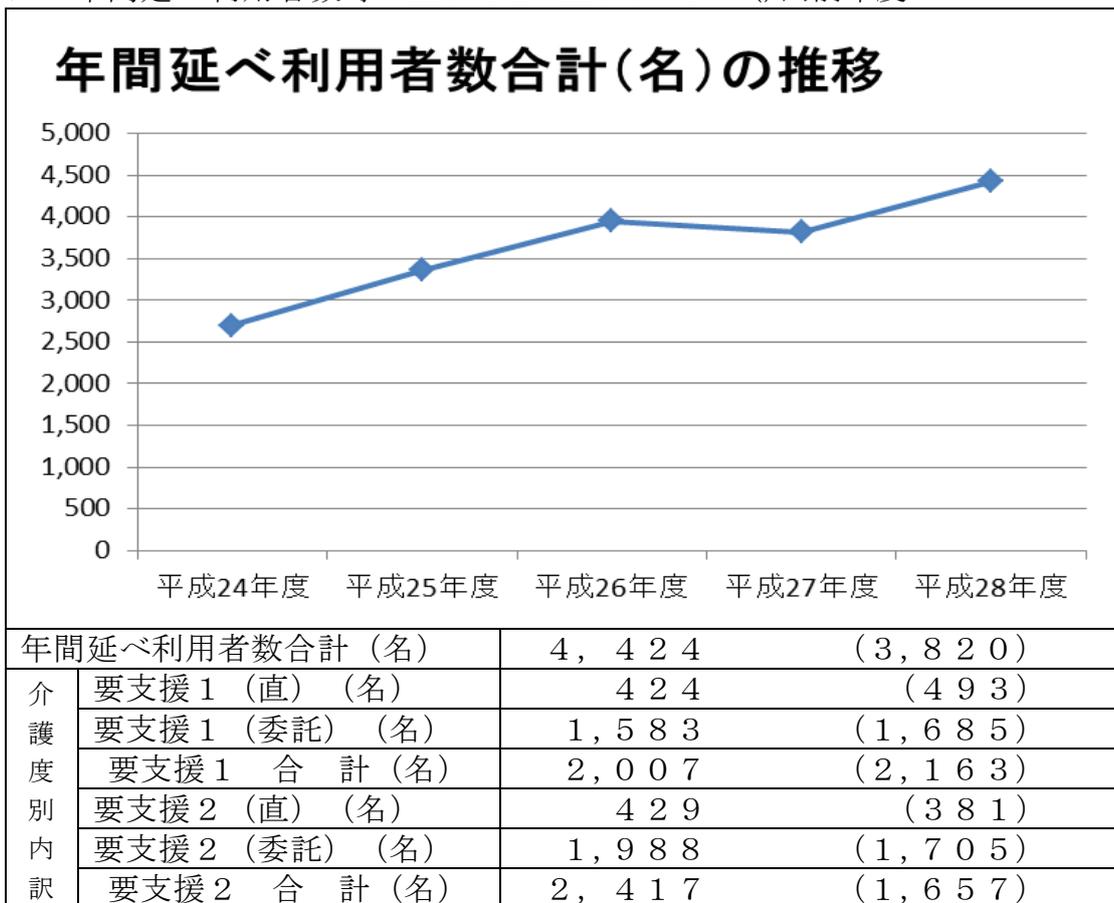
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
家族・家庭問題	11	13	3	8	8	12	2	4	6	1	2	7	77	6.4
経済・生活問題	15	28	14	17	15	9	37	27	36	36	41	16	291	24.3
介護サービス	116	100	120	78	112	119	113	46	72	84	135	175	1270	105.8
介護予防サービス	39	64	53	41	48	78	110	65	49	51	47	48	693	57.8
介護予防事業	23	25	25	18	17	33	13	15	1	5	0	1	176	14.7
福祉サービス	19	16	3	5	4	9	4	1	7	5	2	5	80	6.7
保健医療サービス	3	8	9	11	10	15	4	5	8	30	24	7	134	11.2
虐待	0	8	18	17	8	3	0	9	21	35	37	20	176	14.7
成年後見制度	2	1	5	3	3	1	4	1	1	5	14	3	43	3.6
生きがづくり	1	0	0	3	0	3	2	0	1	3	2	2	17	1.4
その他	0	0	0	1	1	0	2	1	0	3	0	1	9	0.75
合計(件)	229	263	250	202	226	282	291	174	202	258	304	285	2966	247.2

ウ. 苦情相談の状況：H28. 4. 1～H29. 3. 31 ()内前年度

苦情相談	1件(0件)
------	--------

(2) 介護予防支援事業

ア. 年間延べ利用者数等：H28. 4. 1～H29. 3. 31 ()内前年度



イ. 苦情相談の状況：H28. 4. 1～H29. 3. 31 ()内前年度

苦情相談	4件(2件)
------	--------

⑦認知症初期集中支援推進事業(中央区北部)

ア. 相談事業実施状況：H29. 1. 1～H29. 3. 31

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
実施日数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	20	22	62	20.6
相談延件数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	35	53	94	31.3

イ. 広報・普及啓発活動実績：H29. 1. 1～H29. 3. 31

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
件数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	31	19	38	88	29.3

ウ. 若年認知症についての相談：H29. 1. 1～H29. 3. 31

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
件数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0

エ. 支援困難症例の主たる支援機関からの相談：H29. 1. 1～H29. 3. 31

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
件数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	0	3	1

オ. ネットワーク構築のための会議回数：H29. 1. 1～H29. 3. 31

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
件数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	4	8	2.6

カ. 認知症カフェへの側面的支援回数：H29. 1. 1～H29. 3. 31

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
件数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	0	4	1.3

キ. 苦情相談の状況：H29. 1. 1～H29. 3. 31

苦情相談	0件
------	----

3. 診療所事業

ア. 診療報酬請求件数：H28. 4. 1～H29. 3. 31 ()内前年度

	入所者	職員	合計
年間合計(名)	1,234(1,253)	28(37)	1,262(1,290)
月平均(名)	102.8(104.4)	2.3(3.1)	105.2(107.5)

イ. 健康診断実施状況：H28. 4. 1～H29. 3. 31 ()内前年度

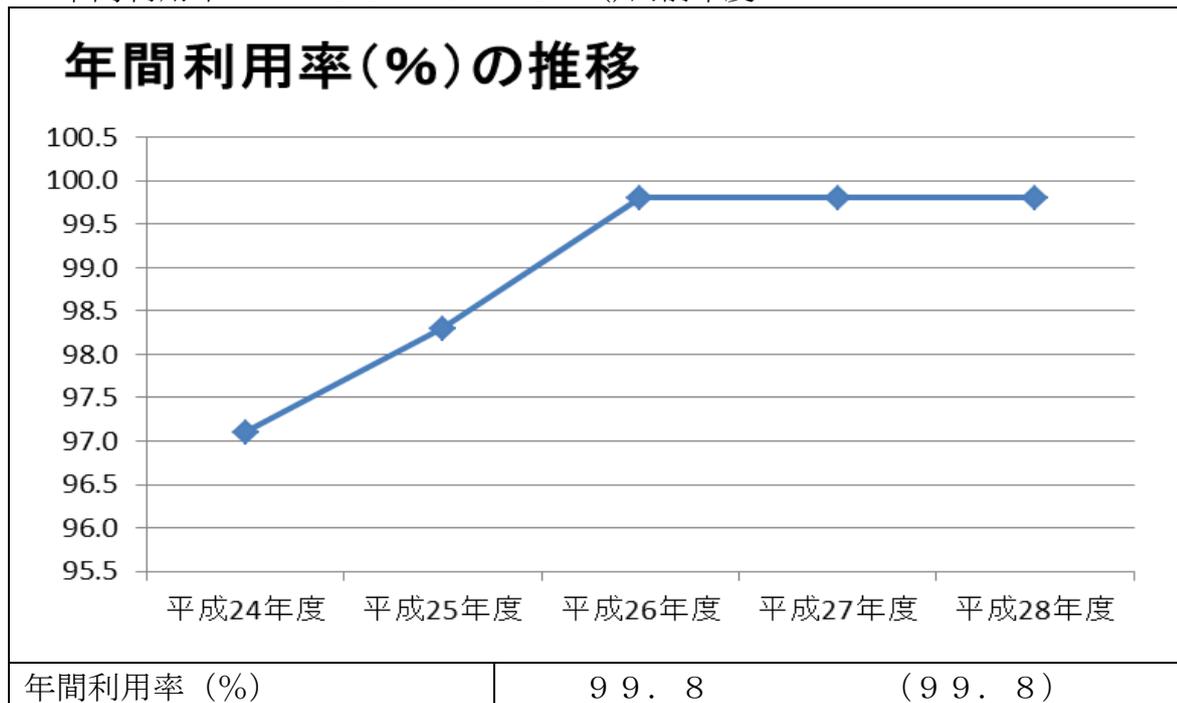
	入所者	職員	ケアハウス	合計
年間合計(名)	219(219)	173(158)	25(24)	417(401)
月平均(名)	18.3(18.3)	14.4(13.2)	2.1(2.0)	34.8(33.4)

ウ. インフルエンザ予防接種実施状況：H28. 4. 1～H29. 3. 31 ()内前年度

	入所者	職員	ケアハウス	職員家族	合計
年間合計(名)	94(100)	133(150)	17(16)	0(0)	244(266)

4. ケアハウス コスモスガーデン

ア. 年間利用率：H28. 4. 1～H29. 3. 31 ()内前年度



イ. 平均年齢：H29. 3. 31 現在 ()内前年度

男性	10名・82.7歳	女性	30名・84.3歳	平均年齢	83.9歳(84.0歳)
----	-----------	----	-----------	------	--------------

ウ. 日常生活動作調査（対象者40名）：H29.3.31現在

区 分	移 動		食 事			排 泄			入 浴		
	自立 歩行	補助 具使用	自 立	一 部 介 助	全 部 介 助	普 通	やや 不 自 由	不 自 由	自 立	一 部 介 助	全 部 介 助
実数(名)	26	14	40	0	0	38	1	1	35	5	0

※補助具使用者とは、歩行時に歩行器・杖・車椅子を使用している者

エ. 面会・来客・外泊状況集計表：H28.4.1～H29.3.31

年間面会・来客回数

11回～	6～10回	3～5回	1～2回	0回
14名	5名	9名	6名	6名

年間外泊回数

11回～	6～10回	3～5回	1～2回	0回
1名	2名	4名	11名	22名

オ. 主な行事

- 4月 創立記念祭 行楽弁当
- 5月 端午の節句祭事食 おでんバイキング 自衛消防訓練 クラブ作品展
- 6月 バイキングランチ ダーツ大会
- 7月 七夕祭事食 土用丑祭事食 鶴橋風月 施設懇談会
- 8月 納涼祭
- 9月 敬老祝賀会 お月見祭事食 結核健診
- 10月 健康診断 行楽弁当 スポーツ大会 おでんバイキング 自衛消防訓練
- 11月 寿司ランチ 作品展
- 12月 人権講座 バイキングランチ イルミネーション見学 ゆず湯
餅つき 年越しそば
- 1月 新年互礼会 七草粥 小正月 鏡開き 地震防災訓練
- 2月 節分祭事食とレクリエーション 寿司ランチ
- 3月 ひな祭り祭事食とレクリエーション 特別ランチ スリーアイズ大会

カ. その他

- 誕生日会：月1回 和みカフェ：年6回 ミニ喫茶：年3回 映画会：月2回
- 折り紙レク：年5回 シナプソロジー：月4回
- 移動図書館：月1回 健康相談会：月1回 健康体操：月1回
- セレクトメニュー昼食：月1回 焼きたてパン：月4回
- 活動クラブ：カラオケ（3チーム）、オセロ、園芸、ダーツ、スリーアイズ、芸術

キ. 苦情相談の状況：H28.4.1～H29.3.31 ()内前年度

苦情相談	9件(10件)
------	---------

5. その他

(1) 研修状況

・施設内研修（基礎研修）

日付	研修名	研修内容	参加者
平成28年 4月20日	利用者のプライバシー保護の取り組みに関する研修	福祉施設職員として、プライバシー保護の重要性を学ぶ	施設長以下計60名
4月20日	虐待防止のための研修	養護者による高齢者虐待について学ぶ	施設長以下計60名
4月20日	介護技術研修	安楽に過ごすための配慮を学ぶ	施設長以下計52名
5月18日	マナー・接遇に関する研修	接遇マナーの基本を学ぶ	施設長以下計73名
6月15日	事故発生防止のための研修	事故を削減するための対応等を学ぶ	施設長以下計66名
6月15日	食中毒の予防及びまん延防止の研修	食中毒の原因となる細菌と予防を学ぶ	施設長以下計66名
7月20日	事故発生等緊急時の対応に関する研修	緊急時の対応の具体的方法を医師等より学ぶ	施設長以下計70名
8月17日	口腔ケアに関する研修	口腔ケアに関する知識を学ぶ	施設長以下計62名
9月28日	ターミナルケアに関する研修	高齢者の看取りケアを学ぶ	施設長以下計63名
9月28日	胃ろう・吸引研修	看護師より胃ろう・吸引の実技指導	施設長以下計56名
10月19日	認知症及び認知症ケアに関する研修（グループワーク）	認知症ケアについて学ぶ	施設長以下計79名
11月16日	感染症予防及びまん延防止のための研修	施設内感染症制御等を学ぶ	施設長以下計76名
12月5日 ～18日	人権研修（ビデオ研修）	人権について学ぶ	施設長以下計80名
平成29年 1月18日	非常災害時の対応に関する研修	非常災害時の対応と備蓄食品等について学ぶ	施設長以下計66名
1月18日	機能訓練に関する研修	介護職の安全（腰痛予防）を学ぶ	施設長以下計60名
2月15日	身体拘束等の排除の取組に関する研修	身体拘束等の排除のための取組みについて学ぶ	施設長以下計70名
3月15日	事故発生防止（グループワーク）	事故発生防止についての基礎知識を学ぶ	施設長以下計71名
3月15日	研修伝達研修	全国大会報告他	施設長以下計71名

・施設内研修（階層別研修）

①新任職員研修

新卒4月採用者に3月24日から4月5日の間7日間実施、計3名受講
 9月～10月採用者を中心に10月6日、7日の2日間実施、計2名受講
 12月採用者を中心に12月9日、10日の2日間実施、計1名受講
 1月採用者を中心に2月9日、10日の2日間実施、計1名受講

- ②中堅職員研修 階層別に中堅職員研修を行った。
 1) 中堅職員研修Ⅰ (入職2年目の常勤職員) 2クール各1日 計10名受講
 2) 中堅職員研修Ⅱ (入職3年以上の常勤職員)
 1クール3日間 (うち、他部署1日研修1日含む) 計5名受講
 3) 中堅職員研修Ⅲ (入職5年以上の常勤職員) 2クール各1日 計9名受講
 ③相談員研修
 相談業務従事者15名に対し、年7回実施、のべ計78名受講

・施設外研修

施設外研修として、各種上部団体主催の研修会にできるかぎり参加。その結果、大阪府社会福祉協議会、大阪市福祉局など計152回の研修に参加した。

(2) ボランティア・実習生受入、体験学習状況

・ボランティア受入状況

①特別養護老人ホーム

内 容	人 数
ホーム喫茶 (毎水曜日)	2名
夏祭り (住友生命)	36名
敬老会 (コメディエンターティナーMr. オクチ)	2名
もちつき (大阪トヨペット株式会社・すみれ会)	11名

②通所介護 (江之子島コスモス苑デイサービスセンター)

内 容	人 数
盆踊り (広教女性会) (7日間)	のべ21名
施設夏祭り (付き添い) (1日間)	5名
初詣 (茨住吉神社7日間)	のべ12名
うた体操 (24回)	のべ48名
大阪市の歴史語り (10回)	のべ12名
手品 (東淀川マジックサークル) (1回)	6名
フラダンス (プルメリア) (1回)	8名
楽器演奏 (オカリナ) (1回)	8名
楽器演奏 (琴) (1回)	2名
コミュニケーション (一般)	2名
コミュニケーション (家庭裁判所)	1名
介護予防ポイントボランティア (36回)	1名

③認知症対応型通所介護 (コスモスのかぜ九条南)

内 容	人 数
盆踊り (九条南女性会・秀西会)	4名
紅葉散策 (5日間)	2名
もちつき (1日間)	3名
初詣 (茨住吉神社7日間)	のべ6名
紙芝居・歌・手品 (たんぼぼ)	のべ24名
話し相手・レクリエーション補助	のべ46名
介護予防ポイントボランティア (12回)	1名

・実習生受入状況

学校等の名称	実人数	のべ人数	内容(資格等)
関西学院大学	1名	23名	社会福祉士
宝塚大学	200名	509名	看護師
多根総合病院	5名	10名	看護師
大阪府病院協会看護専門学校	21名	21名	看護師
関西社会福祉専門学校	11名	160名	介護福祉士
昇陽高等学校	4名	16名	介護福祉士
6機関	242名	739名	—

・職場体験（中学2年生）

平成28年 9月 8日～ 9日 大阪市立西中学校 4名
 平成28年10月19日～20日 大阪市立花乃井中学校 4名

(3) 地域貢献活動など

- ・生活困窮者自立支援事業：特養・通所介護
 就労訓練事業 対象者：1名・のべ192日（通所介護179日・特養13日）
 内 容：入浴準備やシーツ交換などの雇用へ向けての訓練実施
- ・こすもすカフェ（地域喫茶）：江之子島コスモス苑
 ①こすもすカフェ 12回開催・のべ152名参加
 ②こすもすカフェ（モーニング）24回開催・のべ139名参加
- ・認知症サポーター養成講座：江之子島コスモス苑
 10回開催：のべ19名受講（平成25年5月から128名養成）
- ・認知症カフェ（オレンジカフェつどい）：コスモスのかぜ九条南
 10回開催・のべ34名受講
- ・男の料理教室：コスモスのかぜ九条南
 3回開催・のべ15名受講

(4) 寄付金状況(平成28年度分：日付順)

①江之子島コスモス苑

年月日	団体名・氏名	関係	金額	備考
平成28年 7月20日	青石 堯光様	評議員	5,000円	特養夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成28年 7月22日	石谷 重治様	評議員	5,000円	特養夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成28年 7月23日	エルベロワイヤル16 振興町会様	地域	5,000円	特養夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成28年 7月23日	西区健康づくり推進 協議会コスモス会様	地域	10,000円	特養夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成28年 7月23日	濱野様（江戸堀連合） 中島様（広教連合）	地域	5,000円	特養夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成28年 7月23日	金澤 達矢様	地域	5,000円	特養夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成28年 7月23日	竹田 房子様	地域	10,000円	特養夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成28年 8月19日	榎本 幹夫様	入所者 家族	300,000円	法人運営費に充当

平成28年12月 5日	匿名様	—	30,000円	法人運営費に充当
平成28年12月22日	西区民生委員児童委員協議会 白國 哲司様	地域	30,000円	特養夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成29年 2月 3日	住友生命保険相互会社様	法人	56,000円	法人運営費に充当

②コスモスガーデン

年月日	団体名・氏名	関係	金額	備考
平成28年 4月22日	鞆楠クラブ様	地域	5,000円	創立記念祭 ケアハウス運営費に充当
平成28年 9月28日	鞆楠クラブ様	地域	5,000円	敬老祝賀会 ケアハウス運営費に充当

(5) 寄付物品(平成28年度分：日付順)

①江之子島コスモス苑

年月日	団体名・氏名	関係	物品名・個数	備考
平成28年 9月15日	広教連合振興町会様	地域	バスタオル 20枚	特養で使用
平成28年 9月16日	日本たばこ産業株式会社様	法人	たばこ 1カートン	入所者に配布
平成28年 9月20日	大阪ラブリーライオンズクラブ	団体	車いす2台	特養で使用
平成29年 3月 9日	大正銀行	法人	電動自転車 1台	居宅支援事業で使用

②コスモスガーデン

年月日	団体名・氏名	関係	物品名・個数	備考
平成28年 9月 16日	日本たばこ産業株式会社様	法人	たばこ 1カートン	入所者に配布